

有田市立病院だより

Vol. 2



◆有田市立病院の理念◆

良質な医療を行い、地域医療に貢献し、利用者から信頼される病院を目指す。

◆基本方針◆

—理念を現実化させるための私達の姿勢—

- 1 患者様の視点に立った医療を行います。
- 2 安全で確実な医療を重視しています。
- 3 医療サービスを重視し、患者様に十分な情報を提供します。
- 4 他施設との連携を密にし、効率的な医療を行います。
- 5 住民の皆様から喜んでいただくことに働きがいを感じます。

有田市立病院

649-0316 有田市宮崎町6番地

TEL.0737-82-2151 (代)

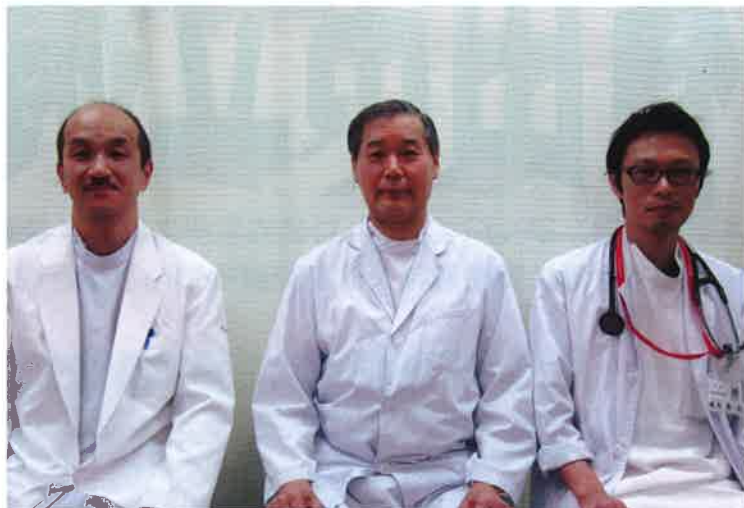
FAX.0737-82-5154

発行：有田市立病院 情報管理・広報委員会

診療科紹介（外科）

当科は消化器外科を中心に内視鏡外科、一般外科を担当しています。

日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医などの資格を有する常勤医師 3 名で診療を行っています（写真）。いずれも和歌山県立医科大学第 2 外科（消化器外科・内分泌・小児外科）に所属しています。



左から、椿原医長 尾野病院長 植村第二医長

肝・胆・膵の癌をはじめ胃癌・大腸癌など消化器疾患を中心に胆石症・鼠径ヘルニア・痔疾患・甲状腺・乳腺疾患なども含めた広い領域で標準的な外科治療を行っています。

特に、我が国に多い胃癌・大腸癌についてはガイドラインに則って手術をしないでも治る癌に対しては、内視鏡による治療を積極的に行い、腹腔鏡手術も積極的に導入しています。

癌治療は、外科治療・内視鏡治療・化学療法・放射線治療・緩和ケアなど多岐にわたりますが、各診療科と連携して個別化治療を行い、患者さん中心の医療、安全で質の高い癌医療を提供できるように努めています。

手術日は月曜日と木曜日です。当院の地域性から高齢者の手術症例も多いのですが、十分に術前評価を行った上で外科治療を行っています。検査は火曜日・水曜日・金曜日に胃カメラや大腸内視鏡検査、内視鏡的ポリープ切除術などを行っています。早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）もを行っています。

【腹腔鏡手術】

胆石症に行われる腹腔鏡下胆嚢摘出術は小さな傷で痛みが少なく、術後の回復も早く癒着も少ないため、現在、世界で一番症例数の多い標準的な手術になっています。

当科では大腸癌や胃癌に対しても根治性を確保した上で積極的に腹腔鏡下手術を行っています。腹腔鏡下手術は通常の開腹手術に比べて内視鏡外科手術特有の技術と経験が必要ですが、当科では日本内視鏡外科学会の技術認定医の指導の下で腹腔鏡手術に精通したスタッフが手術を行っています。

特発性血小板減少性紫斑病に対する脾摘術や副腎腫瘍に対する副腎摘出術も腹腔鏡下に行っています。

最近では症例によって、美容上の利点などから低侵襲手術として単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術（おへその1カ所の切開創から手術器具を挿入して胆嚢摘出を行う手術）を行っています。

【内痔核に対する硬化療法（四段階注射法）】

ジオンという薬を「脱出を伴う内痔核」に直接注射する治療です。痔に流れ込む血液の量を減らして痔を硬化・縮小させ、痔を粘膜に癒着・固定させます。

痔核を切り取る手術と違い、痔核の痛みを感じない部分に注射するので、傷口が痛んだり出血することがほとんどなく、しかも従来の痔を切り取る手術に匹敵するような成績が得られています。

治療は局所麻酔で行い、入院期間は2～3日です。

<2011年の主な手術件数>

胃癌	20例	大腸癌	27例	痔核・痔瘻等	6例
転移性肝癌	3例	胆石症	39例	膵癌	2例
胆道癌	1例	乳癌	5例	鼠径ヘルニア	22例
急性虫垂炎	4例				

胆嚢摘出術	腹腔鏡手術 / 開腹手術	28例 / 5例	(腹腔鏡率 84%)
大腸切除術	腹腔鏡手術 / 開腹手術	18例 / 10例	(腹腔鏡率 64%)

今後とも有田市立病院外科をよろしく申し上げます。

MR I 更新のおしらせ

この度、新MR I（超電導磁気共鳴画像診断装置・1.5テスラ）を導入し、4月より稼働いたします。

新しいMR Iは、高性能・高画質であり今までよりも短時間で撮影でき、静音性に優れた患者様に配慮したものです。また、PACS（医用画像ファイリングシステム）も同時に導入しましたので、いつでも画像端末でMR IやCT等の検査画像が閲覧可能となり、より高度な医療をご提供できるものと確信しております。



看護師・助産師募集

有田市立病院では、看護師・助産師を募集しています。パート勤務OKです。詳しくは、庶務課までお気軽にお問い合わせください。

(内線 283・296)

平成 24 年 4 月 1 日より 入院医療費の計算方法が変わります。

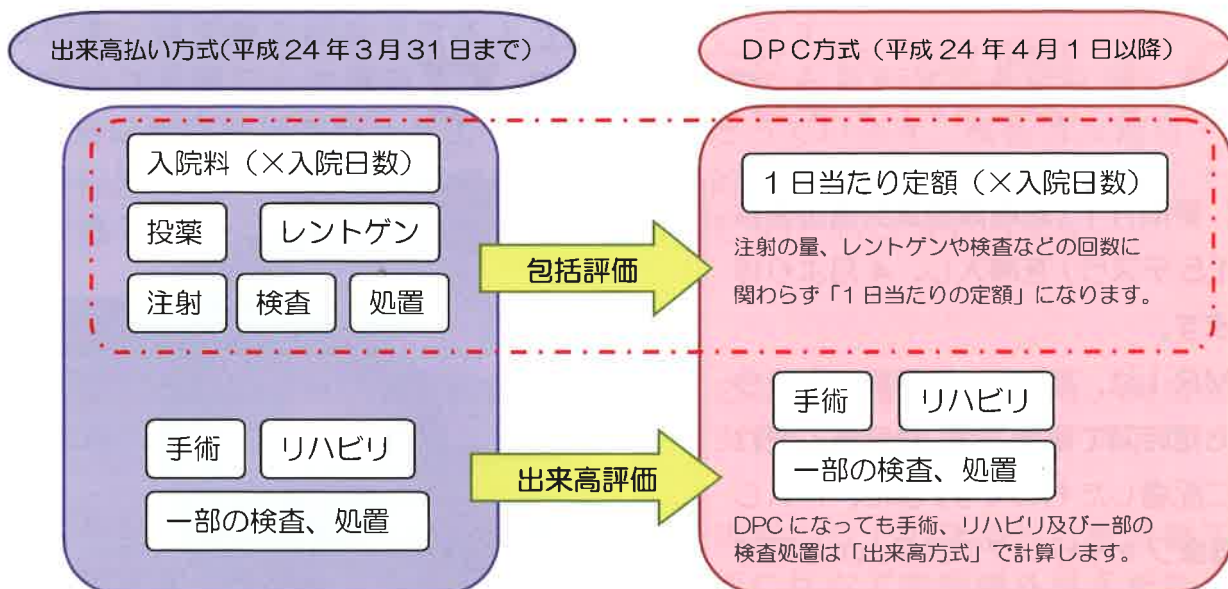
入院費について

有田市立病院は、平成 24 年 4 月 1 日から厚生労働省の指定を受け「DPC/PDPS（包括評価方式に基づく 1 日当たり定額報酬算定制度）」という新しい医療費制度で入院医療費の請求を行う病院となります。

このため、平成 24 年 4 月 1 日以降に入院された患者様から、入院医療費の計算方法が変わり、お支払いも従来の 10 日毎のお支払いから月毎のお支払い（退院の時は退院時）となります。

DPC 制度 (DPC/PDPS) とは

これまでの計算方法は、診療行為ごとにかかったそれぞれの費用を合計して入院医療費を計算する方法で「出来高方式」といいます。DPC 制度とは、入院される患者様の病名や病状などをもとに手術や処置の内容に応じて、厚生労働省が定めた 1,880 分類ごとの 1 日当たりの定額（投薬、注射、処置、入院料等）と出来高（手術、リハビリ等）を組み合わせる新しい計算方法です。



入院医療費の計算方法が変わっても、今までの医療サービスや高額医療費の取扱いは変わりません。また、24 年 3 月以前から入院されている患者様や病名によっては、従来の計算方法（出来高方式）になる場合もあります。

当院では、地域医療との緊密な連携を図りながら、患者様に質の高い医療を提供し安心してご利用いただけるよう努力いたします。

不明な点は医事課へお問い合わせください。

(内線：291・292)